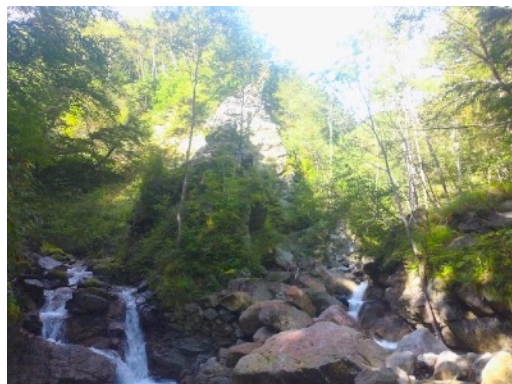


# 与田切川本谷 念丈岳

沢登り

2022年09月17日

参加者：桐林



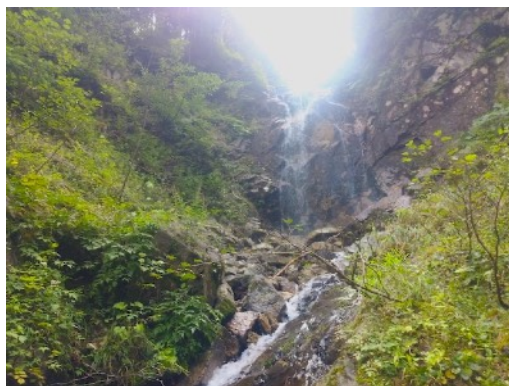
1800m 付近の二股

会員の方が、飯田松川、奥念丈岳の計画書を出されることが多い。どこにあるのかと調べたところ、奥の南の念丈岳から、片桐松川と与田切川が伸びている。単独でも行けそうな広い等高線がある与田切川をまずは味わおうと、計画した。you氏参加の予定だったが職場で陽性者が出たとのことで、安全を考え不参加。

2時浜松を出発。1泊の予定だったが、台風接近。日本登山大系には9時間。日帰りは可能と見込み、最初から飛ばした。6時前にゲート前を出発し、6時半ごろ入渓。前回の白倉峡の撤退があり、ゾワゾワしながら進んでいった。事前情報より、釣り師の下降路としてピンクテープのハイウェイがあり、快適とのこと。標高差1800 - 1700m 近くまであり（道を間違えたから？）確かに速かった。予想以上に釣り師の組がいて、川を

離れながら歩くのに最適だった。

入渓から2時間、ノンストップ。足速で、現在地確認が疎かになっていた。左図の二股時、左の水量が多いから本谷だと、疑うこともなく進んでしまった。結局それは下図の滝に出会うまで気づけなかった。この滝は安易に取り付けず、また右岸より乗り越せそうだが足場が悪かった。安全第一で少し戻り右岸より高巻き、沢に戻れず丸い緩い等高線をもつ尾根を直上。登れば登るほど悔しい。本谷は笹が少なそうなことが遠望してわかった。1時間ほどの藪漕ぎで、念丈岳と・2243の間の稜線上に10時手前。下を向いてため息をついた。念丈岳を踏み、登山道で戻った。14時半ごろ、駐車場へ到着。本谷ではないのが、心苦しい。中央アルプスの沢と、初めての出会いとなった。



ルートを間違えて出会った8m 滝